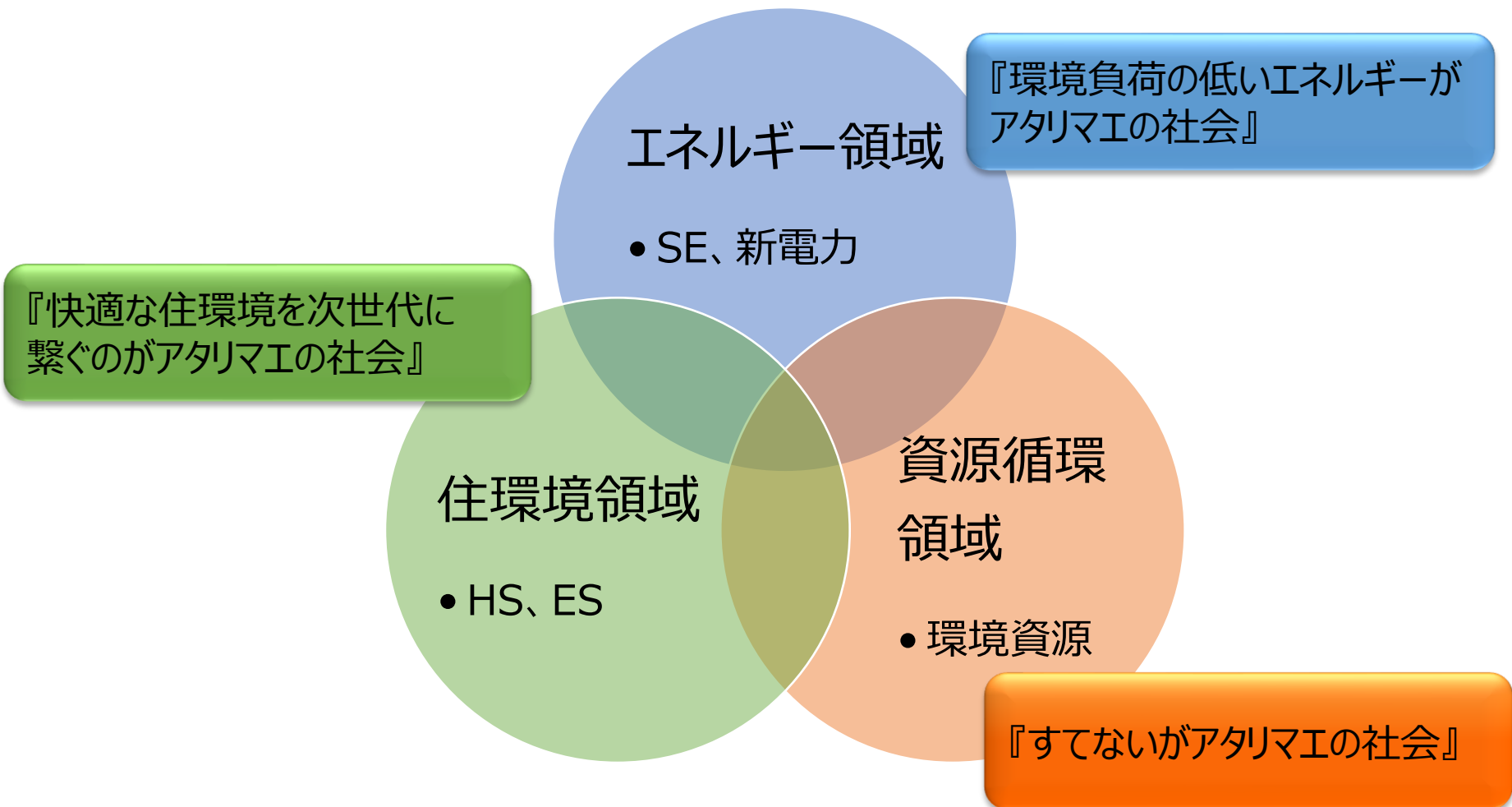


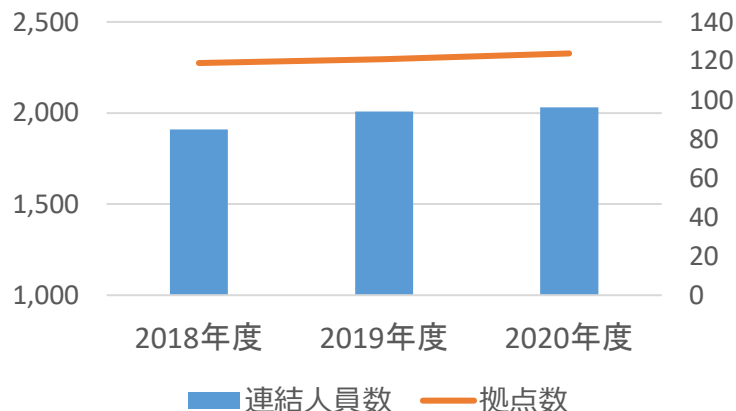
サニックスの長期構想 イメージ

企業理念 「次世代へ快適な環境を」

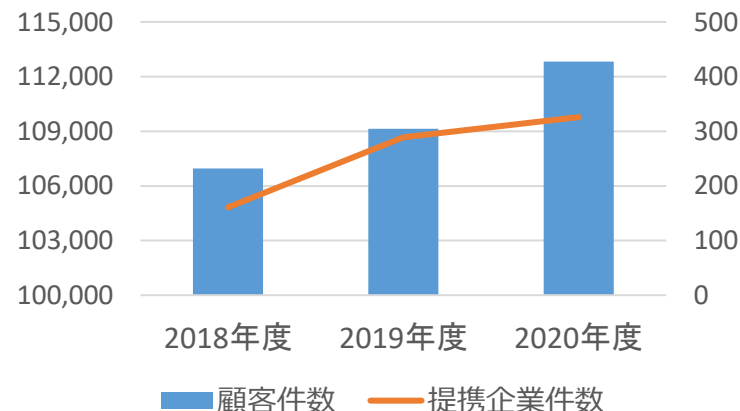


経営基盤の強化（中期経営計画の進捗）

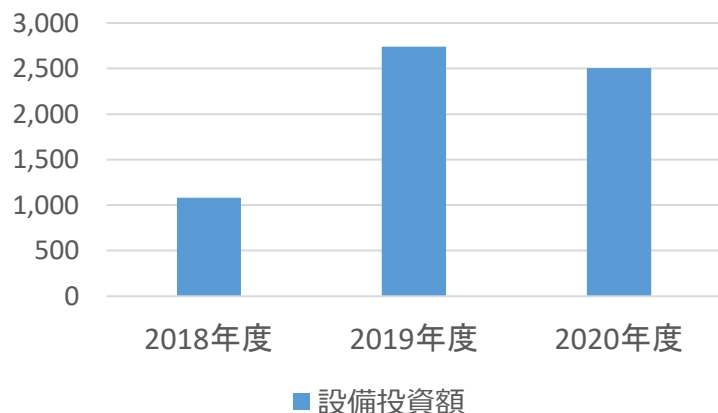
人員数(人)、拠点数(カ所)



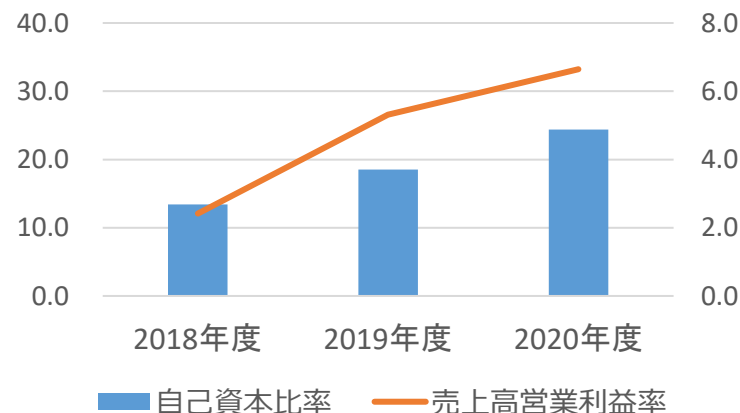
HS顧客(軒)、提携企業件数(件)



投資額(百万円)

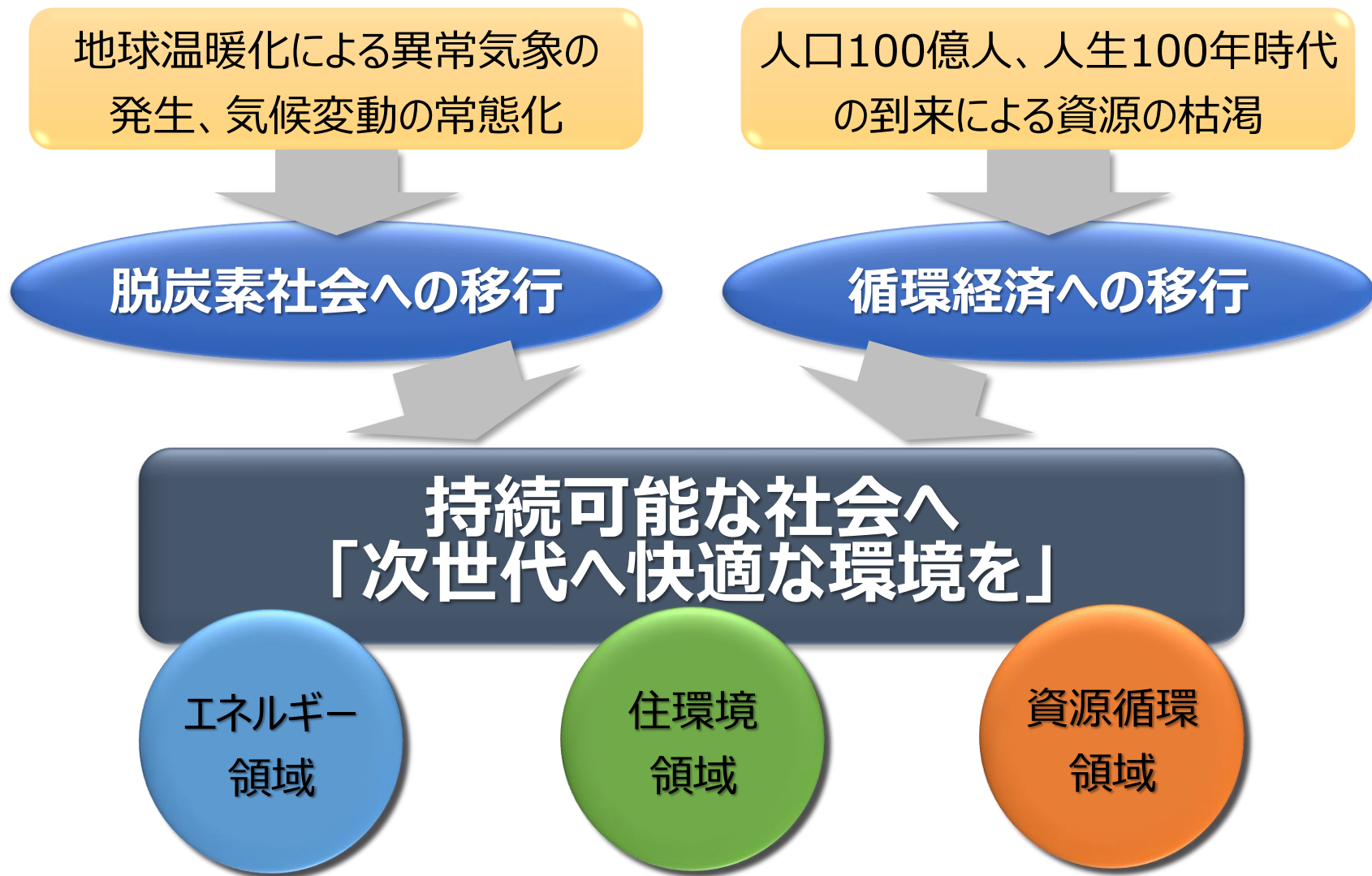


自己資本比率、営業利益率



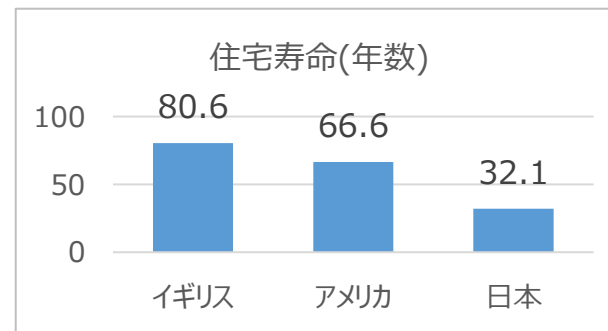
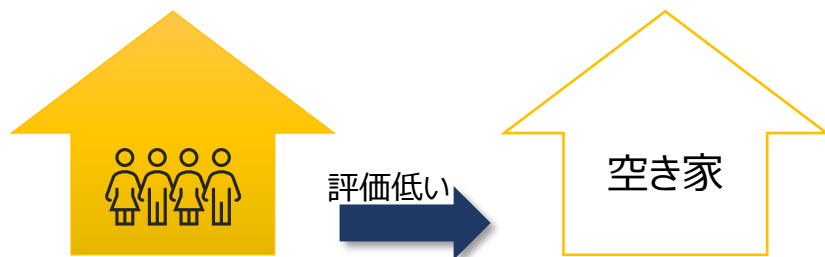
各指標とも、2020年度は第3四半期終了時点

着実に基盤強化が進んでおり、次の成長に向けた足場が固まりつつある



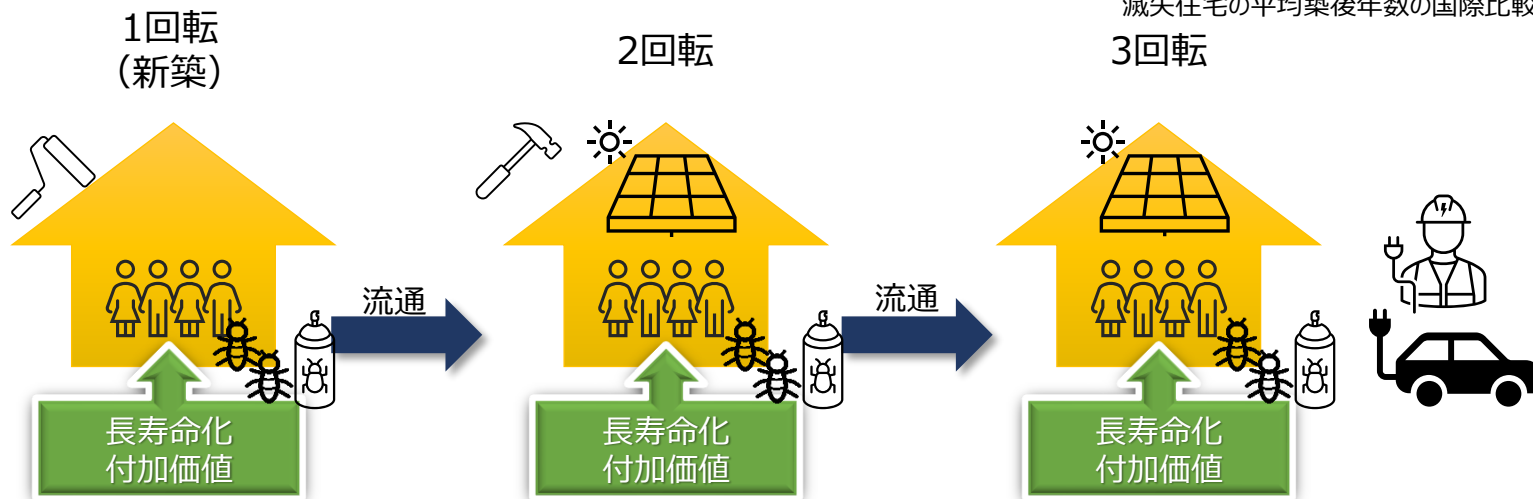
以前より、「住宅の長寿命化」「中古住宅流通市場の形成」が課題とされてきたが、省エネ性能の向上及びコロナ禍や働き方改革等、新たなニーズや市場が今後形成されていく。

従来



国土交通省 平成28年度住宅関連データ
滅失住宅の平均築後年数の国際比較

将来



これまでの白蟻防除を起点とした年に1度の定期点検に基づく各種メンテナンスサービスの提供に加え、新たに生まれる多様な住まいへのニーズに対応できるようリフォーム等の住宅関連サービスを拡充し、多世代にわたり引き継がれる良質な住宅ストックの形成を目指す。



<シロアリ駆除・予防>



<家屋補強>

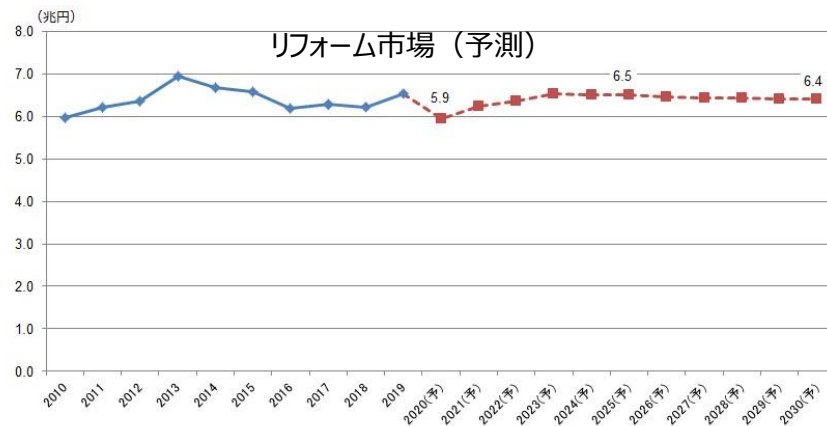
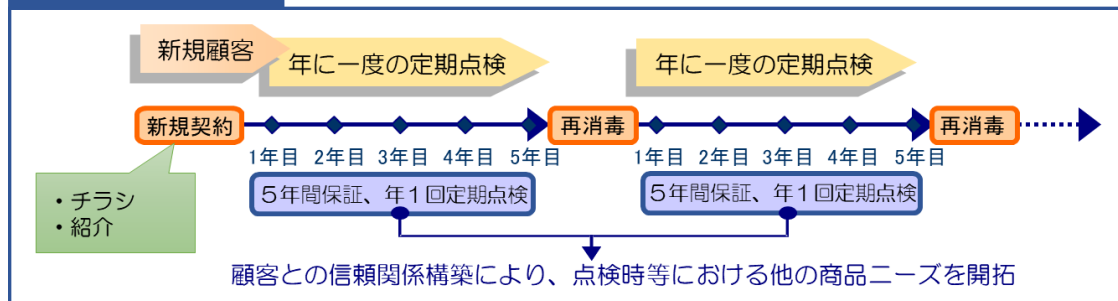


<基礎補修>



<給排水管チェック>

顧客基盤の形成フロー



矢野経済研究所調べ
注3. 国土交通省「建築業工統計」、総務省「家計調査年報」、総務省「住民基本台帳」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」、内閣府経済財政諮問会議「中長期の経済財政に関する試算」をもとに矢野経済研究所推計
注4. 2020年以降予測値

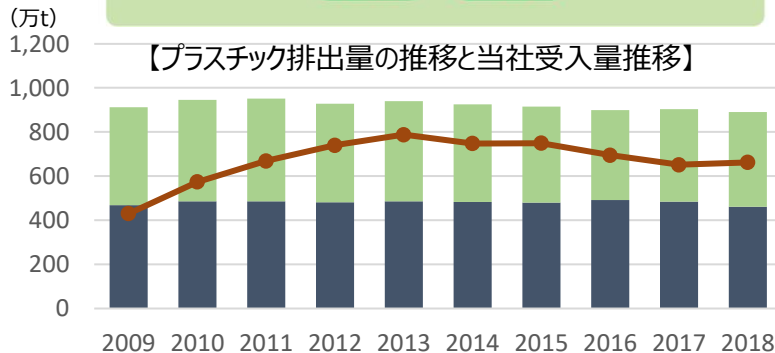
当社は、廃プラスチックを燃料化し発電の燃料とするサーマルリサイクルの精度を高めてきた。今後も、廃プラスチックの有力なリサイクル方法として維持・強化をはかる。一方で、その他のリサイクルルートの開拓を進め、さらに多様なプラスチックの受入れを目指す。

資源循環型発電システム

資源循環型社会の構築に貢献します。

廃プラスチックの
有効利用を促進します

化石燃料の消費を抑制
燃焼時のCO₂排出量を石炭と比較して15~20%削減
最終処分場の残余年数を延ばす



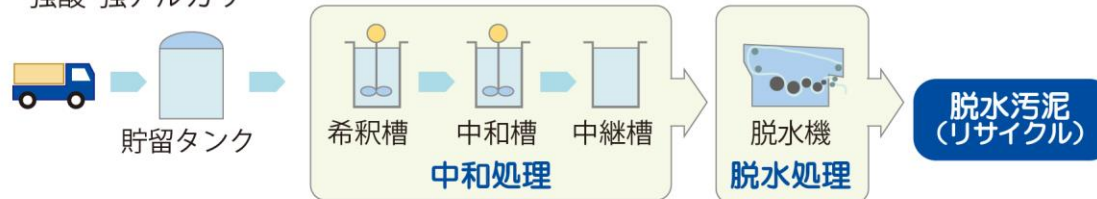
一般社団法人プラスチック循環利用協会「プラスチックリサイクルの基礎知識」



廃液処理に関しては、処理過程で発生する油分や汚泥の再生・再利用について実用化の検証を進めており、一部は燃料として販売を開始。燃料化リサイクルの仕組みを確立し、徐々に規模の拡大を図る。

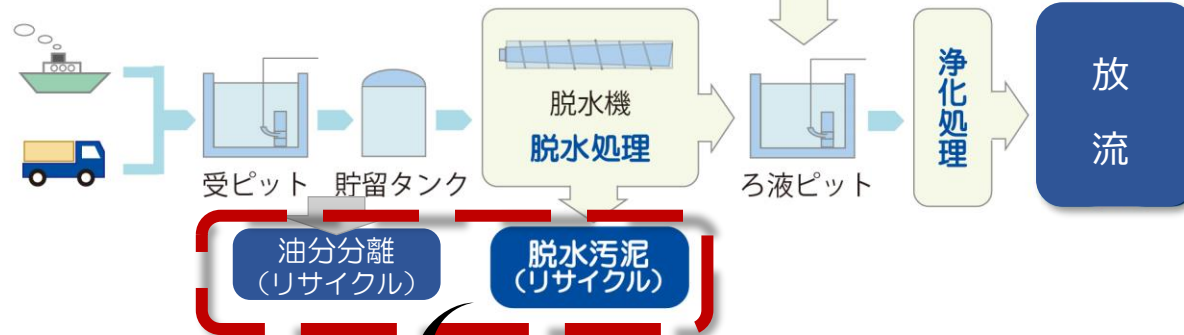
特別管理産業廃棄物

強酸・強アルカリ



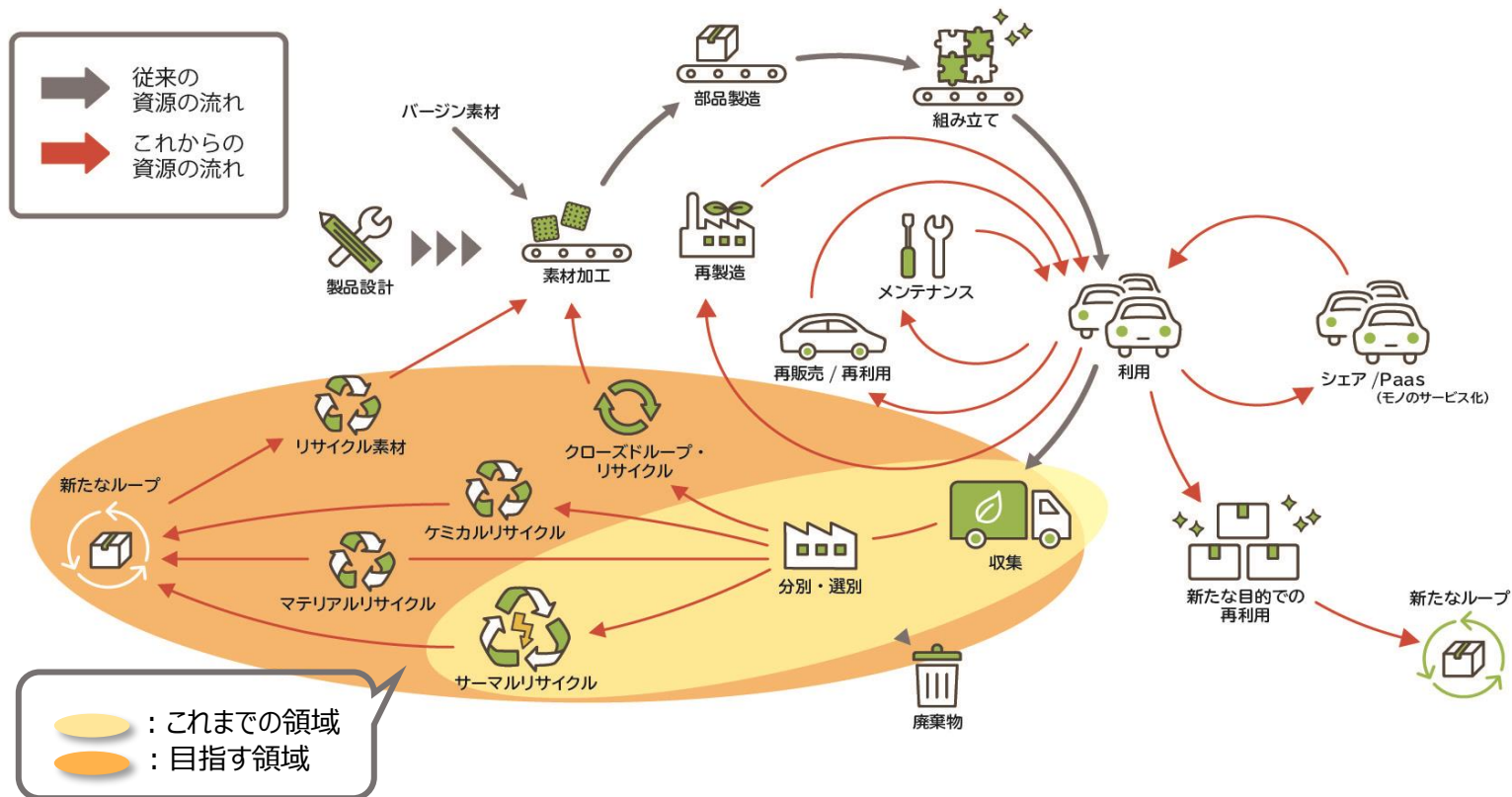
産業廃棄物

汚泥・廃酸・廃アルカリ・動植物性残渣



燃料として販売
石炭等の代替を目指す

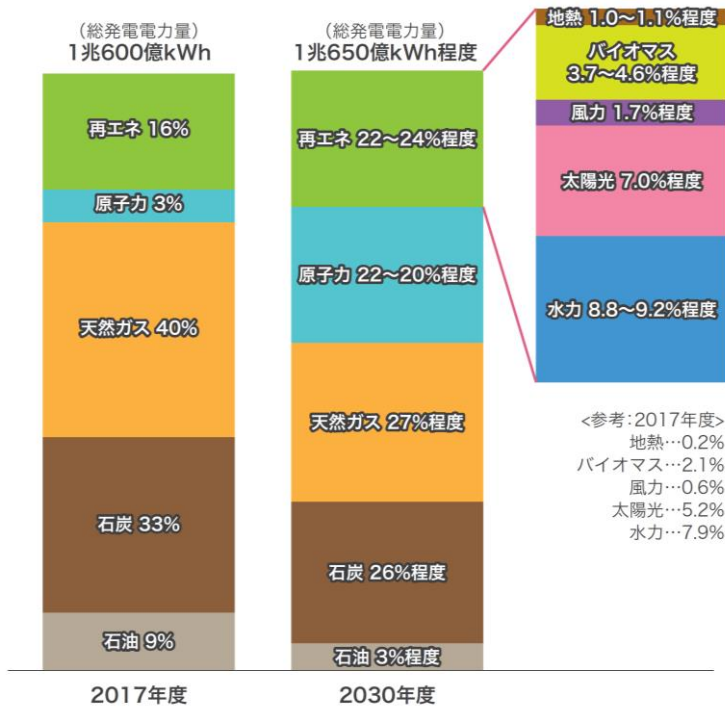
廃棄物処理への関心が高まる中、サーマルリサイクルに加えて、収集・選別の知見を活かし、サーキュラー・エコノミーの起点の役割を担う。



2020/6/24 第2回 サークュラー・エコノミー及びプラスチック資源循環ファイナンス研究会資料をもとに当社が作成

政府として、2050年の目標として「カーボンニュートラル」が宣言され、民間企業においてもCO2排出実質ゼロを志向する企業が増えていることから、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーのニーズが高まる。

電源構成

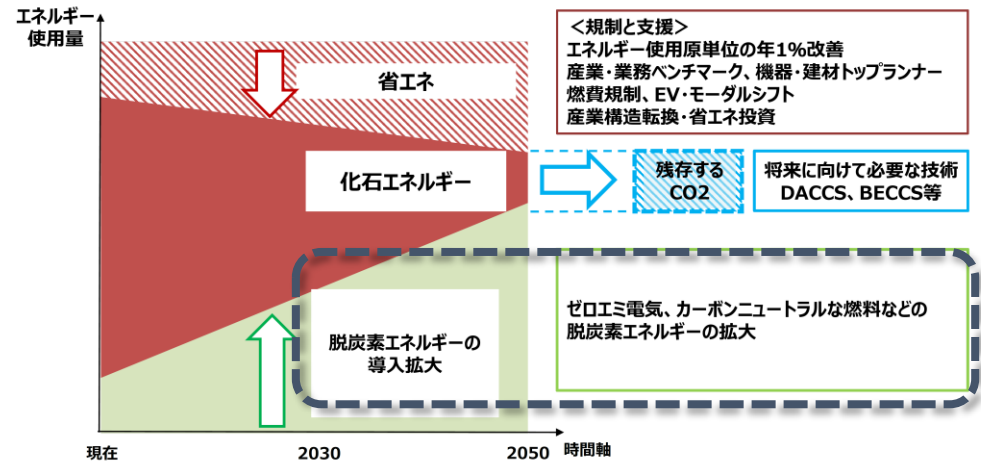


2050年に電源構成の「参考値」として再生可能エネルギーの比率を50~60%にすることで検討中

2050年カーボンニュートラルに向けた需要側の取組

- 2050年カーボンニュートラルに向けては、**徹底した省エネ**に加え、再エネ電気や水素等の**脱炭素エネルギーの導入を拡大していくことが必要**となる。
- 需要側において、引き続き**省エネを進めつつ、供給側の脱炭素化を踏まえた電化・水素化等のエネルギー転換を促す**べき。

■ 需要側のカーボンニュートラルに向けたイメージ

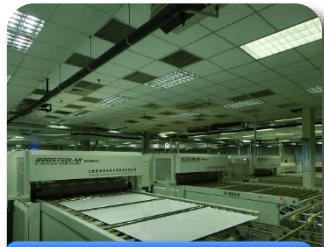


2021/1/27

第36回総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会

資源・エネルギー庁 「日本のエネルギー2019」

太陽光発電を恒久的なエネルギー源として継続させるため、製造・設置はもちろん、メンテナンスや役目を終えた発電所設備の適正処理・部材のリサイクル等あらゆる運営面をサポートできる体制を構築する。



開発・製造



販売



施工



設備稼働



リサイクル・廃棄処理



設備追加
(蓄電池など)

- ・電力買取、小売
- ・VPP



電力取引



メンテナンス

- ・保証制度
- ・遠隔監視、その他
有料メンテナンス
メニュー

基盤となる既存事業の成長とともに、周辺の関連事業やシナジーの見込める事業への拡大を図る

住環境 領域

- 白蟻防除
- 床下・天井換気システム
- 基礎補修・家屋補強工事
- 防錆機器取付施工

- 住空間における快適性の提供
- 「見えないところ」から「見えるところ」へ拡大し、住宅全体のメンテナンスをサポート

資源循環 領域

- 廃プラスチックの燃料化
- 有機廃液処理
- 廃プラ燃料による火力発電
- 埋立処理

- サーマルリサイクルの安定稼働、拡大
- 廃液由来の燃料加工の事業化
- リサイクル率の向上を推進するための技術応用（収集、選別等）

エネルギー 領域

- 太陽光発電システム施工
- 電力小売

- 太陽光発電設備のさらなる拡大、及び維持・廃棄処理まで行う一貫体制の構築
- 環境負荷の低いエネルギーの利用普及・促進

事業の拡大に関しては、自社リソースによる立上げ・育成の他、提携・協業等により進めていく